PENTAX®

Optio MX4

（PC活用編）

はじめに

本書は、ペンタックス・デジタルカメラOptio MX4を使用して撮影した画像をパソコンで閲覧する方法について説明しています。本書をお読みになった後は、必ず保管してください。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
SDロゴは商標です。
QuickTime™およびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国その他の国で登録された商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

●本書で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

本文中のパソコンの画像表示は、パソコンの種類によって異なる場合があります。

目次

パソコンで楽しむ、デジタル写真、動画の世界

デジタルカメラで撮影した写真や動画は、パソコンを活用して整理したり編集加工するなど、さまざまな方法でお楽しみいただけます。

ダイレクトプリント

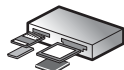
カメラとPictBridge対応プリンタを直接USBケーブルで接続してプリントします。
☞「Optio MX4」使用説明書（p.118）

お使いのパソコンは. . .
- USBインターフェイスを標準装備
- OSはWindows 98/98SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.2/X（Ver.10.1、10.2、10.3）

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続してカメラ内の画像をパソコンに転送できます。

テレビで見る

カメラとテレビをAVケーブルでつないで画像や動画を表示できます。
☞「Optio MX4」使用説明書（p.104）

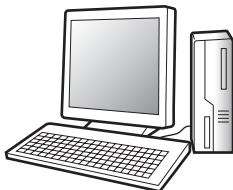
お使いのパソコンは. . .
- Windows 95/NT、Mac OS 8.6

内蔵カードスロット＋PCカードアダプタ、カードリーダーなどを使って画像を転送できます。
- カードを取り出して他の機器で転送する場合は、ご使用の機器の説明書もご覧ください。

お店でプリント

カードに保存した画像をプリントショップでプリントできます。
- カメラでDPOF設定をしてプリントショップでプリント
  ☞「Optio MX4」使用説明書（p.115）
- ショップでプリントする画像を選ぶ

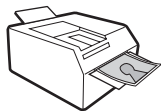
インターネットで活用

パソコンに転送した画像や動画は、パソコンのメールソフトを使用してメールに添付して送ったり、ホームページの素材として利用することができます。

- メールへの添付方法などについては、ご使用のメールソフトの説明書をご覧ください。
- ホームページの素材としてご利用の場合は、ご使用のソフトの説明書をご覧ください。

ACDSee for PENTAX ☞p.25～64

- 画像の表示　• 動画の再生　• 画像の印刷
- 画像や動画の編集加工　• 画像や動画の整理保存
- メールでの画像／動画送付
- ホームページでの画像／動画の発表

- 上記の作業は、市販の画像編集ソフトでも行えます。ご使用のソフトの説明書をご覧ください。

プリントする

パソコンに転送した画像は、プリンタで印刷することができます。
プリンタによっては、直接カードから印刷できるタイプもあります。

- 詳しくは、ご使用のプリンタの説明書をご覧ください。

メディアに保存

パソコンに転送した画像は、CD-Rなどに記録して保存できます。

デジタル写真と動画を楽しむための準備

本製品に付属するCD-ROMに収録されているソフトウェアをお手持ちのパソコンにインストールし、デジタルカメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、デジタルカメラで撮影した画像や動画をパソコン上に転送し、整理、表示、加工、印刷、共有することができます。ここでは、まずはじめに付属ソフトウェア「ACDSee for PENTAX」のインストールなど、デジタル写真と動画をパソコンで楽しむために必要な準備についてご説明します。

付属ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROM（S-SW23）には、次のソフトウェアが含まれます。

Windows

- 「ACDSee for PENTAX」（画像閲覧・編集用ソフト）
  「ACD FotoCanvas」（画像編集ソフト）
  「ACD photostitcher」（パノラマ合成ソフト）
  「FotoSlate」（画像レイアウトソフト）
  「ACD Showtime! for PENTAX」（動画編集ソフト）
- QuickTime 6

Macintosh

- 「ACDSee for PENTAX」（画像閲覧ソフト）
- 「ACD photostitcher」（パノラマ合成ソフト）

デジタルカメラとパソコンの接続には、付属のUSBケーブル（I-USB7）をお使いください。

システム環境

デジタルカメラで撮影した画像や動画をパソコンでお楽しみいただくには、以下のシステム環境が必要です。

Windowsのシステム環境

Windows 95ではご使用になれません。

●USB接続

- Windows 98/98SE/Me/2000/XP（Home Edition・Professional）がプリインストールされたパソコン（Windows 98/98SEのみドライバのインストールが必要）
- USBポートが標準で搭載されていること

●アプリケーションソフト

＜ACDSee for PENTAX、ACD FotoCanvas、ACD photostitcherおよびFotoSlate＞
（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中[繁体字/簡体字]・韓・日）

- OS　Windows 98SE/Me/NT/2000/XP（Home Edition・Professional）
- CPU　Pentium以降を推奨
- メモリ　64MB以上
- ハードディスクの空き容量　40MB以上
- モニタ　256色以上表示可能なディスプレイアダプタ
- Internet Explorer 5.5以降

※一部のフォーマットを表示させるには、QuickTime 6以降、DirectX 9.0以降、Windows Media Player 9.0以降が必要となることがあります。
※ACDSee for PENTAXをインストールするには、Windows Installer ServiceのVersion2.0が必要になることがあります。
※ACDSee for PENTAXを標準インストールする際に、ACD Showtime! for PENTAXのインストールも併せて行われます（ただし、ACD Showtime! for PENTAXのシステム環境を満たしている場合）。
※推奨環境に該当するすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

＜ACD Showtime! for PENTAX＞
（6言語対応：英・仏・独・西・伊・日）

- OS　Windows 98SE/Me/NT/2000/XP（Home Edition・Professional）
- CPU　PentiumⅢ 500MHz以上（Pentium4 2.0GHz以上を推奨）
- メモリ　128MB以上（512MB以上を推奨）
- ハードディスクの空き容量　50MB以上
- モニタ　256色以上表示可能なディスプレイアダプタ
- Internet Explorer 5.5以降
- QuickTime 6以降
- Windows Media Player 7.1以降（Windows Media Player 9.0以降推奨）
- DirectX 9.0以降

＜QuickTime 6＞
（6言語対応：英・仏・独・西・伊・日）

- OS　Windows 98/98SE/Me/NT/2000/XP（Home Edition・Professional）
- CPU　Pentium以降を推奨
- メモリ　128MB以上

※ACDSee for PENTAX、ACD Showtime! for PENTAX上で動画を再生するには、QuickTime 6以降が必要です。

「ACDSee for PENTAX」および「ACD Showtime! for PENTAX」のご使用に必要なバージョンのInternet Explorer、Windows Media PlayerおよびWindows Installer Serviceは、本製品に付属のCD-ROM（S-SW23）からはインストールされません。必要に応じて以下のサイトからダウンロードし、インストールしてください。

- Internet Explorer
  http://www.microsoft.com/japan/ie/
- Windows Media Player
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/
- Windows Installer Service
  http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP292539

Macintoshのシステム環境

●**USB接続**

- Mac OS 9.2/X（Ver.10.1、10.2、10.3）がプリインストールされたMacintosh
- USBポートが標準で搭載されていること

※ドライバのインストールは必要ありません。

●**アプリケーションソフト**

＜ACDSee for PENTAXおよびACD photostitcher＞
(6言語対応：英・仏・独・西・伊・日)

- OS　　Mac OS 9.2以降（QuickTime 6以降およびCarbonLib最新版が必要）
- CPU　PowerPC 266MHz以上
- メモリ　8MB以上
- ハードディスクの空き容量　6MB以上

※ACD photostitcherをMac OS X以降で使用する場合は、Classic環境が必要になります。
※推奨環境に該当するすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

ドライバとソフトウェアをインストールする（Windows）

USBドライバと必要なソフトウェアをインストールします。

画像処理ソフトウェア（ACDSee for PENTAX）のインストール ☞p.10

USBドライバをインストールする（Windows 98/98SEのみ）

1　パソコンの電源を入れる

2　付属のCD-ROM（S-SW23）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

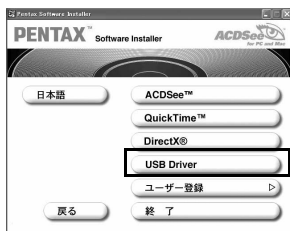
画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

> **•「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合**
> 以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。
> 1）デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする
> 2）「CD-ROMドライブ（S-SW23）」のアイコンをダブルクリックする
> 3）「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3　「日本語」をクリックする

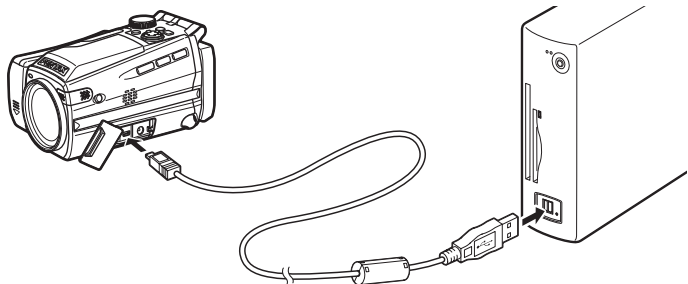
インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

4　「USB Driver」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、インストールの作業を進めてください。

5 「完了」をクリックする

セットアップ画面が閉じたら、パソコンを再起動してください。

6 カメラの電源をオフにして、付属のUSBケーブルでパソコンとカメラを接続する

メモ　カメラのUSB接続モードが「PC」に設定されていることを確認してから、USBケーブルを接続してください。（☞p.16）

7 カメラの電源を入れる

デスクトップ画面に「新しいハードウェアが見つかりました」（Windows XP）または「新しいハードウェアの検出」（Windows 98/98SE/Me/2000）と表示され、USBドライバがインストールされます。

8 デスクトップ画面から「マイコンピュータ」をダブルクリックする

インストールが完了すると、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。「マイコンピュータ」を開いて「リムーバブルディスク」が表示されていることを確認してください。

メモ　Windows XPの場合、SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名が表示されます。フォーマットされていない新しいカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

画像処理ソフト（ACDSee for PENTAX）をインストールする

撮影した画像を閲覧・編集するためのソフトウェア（ACDSee for PENTAX）をインストールします。

Windows 2000およびWindows XPで複数のアカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

1　パソコンの電源を入れる

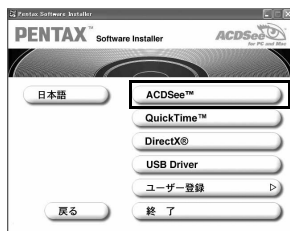
2　付属のCD-ROM（S-SW23）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

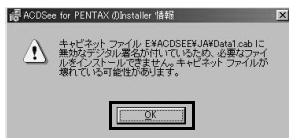
- **「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合**
  以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。
  1）デスクトップ画面から「マイ コンピュータ」をダブルクリックする
  2）「CD-ROMドライブ（S-SW23）」のアイコンをダブルクリックする
  3）「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3　「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

4　「ACDSee™」をクリックする

パソコンにQuickTimeやDirectXがインストールされていない場合は、図のようなメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、インストール作業を進めてください。

なお、QuickTimeやDirectXのインストールを行う場合、インストール途中に特別な設定を行う必要はありません。すべて初期設定のまま、「次へ」ボタンなどをクリックしてください。

Windows 98SEをご使用の場合、インストールの途中で図のようなメッセージが表示されることがあります。

その場合､以下の手順でInternet Explorerをアップデートしてからインストールしてください。

1 ACDSee for PENTAXのインストールをいったん終了します

「OK」をクリックし、その後表示される完了画面で「完了」をクリックしてください。

2 最新のInternet Explorerをインストールします

以下のサイトからダウンロードしてください。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=fh;JA;DOWNLOADOVER

Internet Explorerのアップデート後、上記のサイトからWindows Updateを行うと、より動作を安定させることができます。

※パソコンがインターネットに接続されていない場合は、弊社のお客様相談センターにご相談ください。

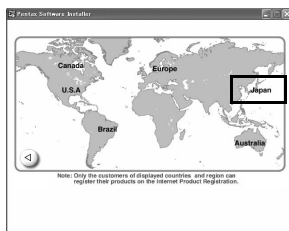
セットアップ画面が表示されたら、画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。インストールが完了したら、Windowsを再起動してください（インストールの途中に特別な設定を行う必要はありません）。

ACDSee for PENTAXを標準インストールすると、パノラマ合成ソフト「ACD photostitcher」、画像レイアウトソフト「FotoSlate」、画像編集ソフト「ACD FotoCanvas」および動画編集ソフト「ACD Showtime! for PENTAX」も同時にインストールされます。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

- パソコンがインターネットに接続できる環境の場合
  パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、ACDSee for PENTAXのインストール手順4（☞p.10）で表示されるソフトウェアの選択画面で、「ユーザー登録」をクリックします。
  図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックしてください。弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。

  ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。
  https://service.pentax.jp/pentax/user

- パソコンがインターネットに接続できない場合
  同梱のユーザー登録カードでユーザー登録を行ってください。

ソフトウェアをインストールする（Macintosh）

Macintosh環境に必要なソフトウェアをインストールします。

画像処理ソフト（ACDSee for PENTAX）をインストールする

撮影した画像を閲覧・編集するためのソフトウェア（ACDSee for PENTAX）をインストールします。

1　Macintoshの電源を入れる

2　付属のCD-ROM（S-SW23）を、MacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3　CD-ROM（S-SW23）のアイコンをダブルクリックする

4　「Install ACDSee」のアイコンをダブルクリックする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。
「Master Installer」のアイコンが表示されたら、そのアイコンをダブルクリックすると、「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

5　「日本語」をクリックする

Mac OSの選択画面が表示されます。

6　使用するMac OSをクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。

7 「ACDSee™」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。

インストール中に「CarbonLib-xxxxx-が見つからない」のメッセージが表示されたら…

Mac OS 9.2上で付属のソフトウェアをインストールするには、“CarbonLib”という機能拡張ファイルをシステムフォルダ内の機能拡張フォルダに追加しておく必要があります。
この機能拡張ファイルが存在しないか、またはバージョンが古い場合に、このメッセージが表示されます。
Carbon Libの最新バージョンはアップルコンピュータ社のWebサイトで公開されていますので、ダウンロードの上、インストールをしてください。
アップルコンピュータ社のサイト : http://www.apple.co.jp/
※CarbonLibの詳しい使用方法についてはアップルコンピュータ社へお問合せください。

ACD photostitcherをインストールする

続いて、パノラマ合成に使用するソフトウェア（ACD photostitcher）をインストールします。

1 「ACD photostitcher」をクリックする

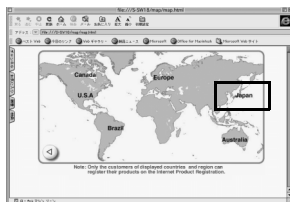
「ソフトウェア使用許諾書」が開きます。読み終わったら、「続ける」ボタンをクリックします。

2 「インストールする場所」を選び、「インストール」ボタンをクリックする

インストールが始まります。終了すると確認画面が表示されますので、「終了」ボタンをクリックしてください。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

- パソコンがインターネットに接続できる環境の場合
  パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、ACDSee for PENTAXのインストール手順7（☞p.14）で表示されるソフトウェアの選択画面で、「ユーザー登録」をクリックします。
  図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックしてください。弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。
  ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。
  https://service.pentax.jp/pentax/user

- パソコンがインターネットに接続できない場合
  同梱のユーザー登録カードでユーザー登録を行ってください。

カメラ側の準備

お使いのパソコンに必要なソフトウェアのインストールが完了したら、デジタルカメラ内の画像をパソコンに転送するための、カメラ側の準備も行いましょう。

カメラのUSB接続モードを「PC」に設定する

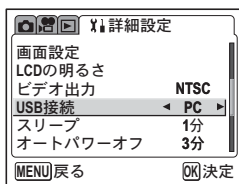
1　カメラのMENUボタンを押す

「撮影」または「再生」メニューが表示されます。

2　十字キー（▶）を押して「詳細設定」メニューを表示する

3　十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「PC」あるいは「PC-F」を選ぶ

5　OKボタンを押す

- 「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。
- 「USB 接続」で「PC」および「PC-F」に設定したままカメラをプリンタに接続しないでください。

カメラ内の画像や動画を転送する

デジタルカメラで撮った写真や動画をパソコンで楽しむための準備が整ったら、早速写真や動画をパソコンに転送してみましょう。

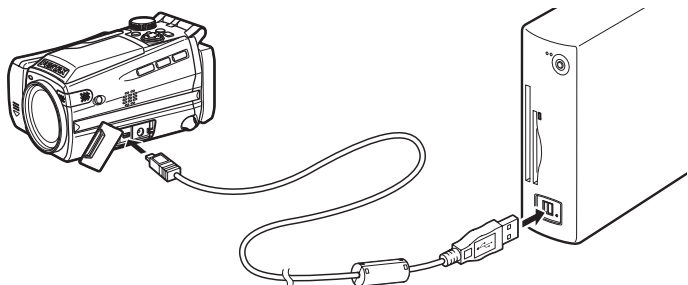
Windowsパソコンへの転送

Windowsパソコンにカメラを接続し、カメラの電源を入れると、自動的にカメラが認識され、画像の転送が開始されます。

カメラとパソコンを接続する

1　パソコンの電源を入れる

2　カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続する

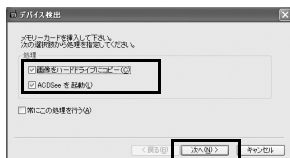
カメラにSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

3　カメラの電源をオンにする

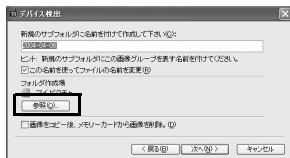
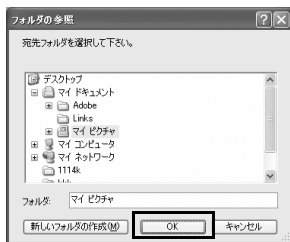
自動的に「デバイス検出」の画面が表示されます。
「デバイス検出」が表示されない場合は、「デバイス検出が表示されない場合」(☞p.19) の手順に従って、画像を表示・コピーしてください。

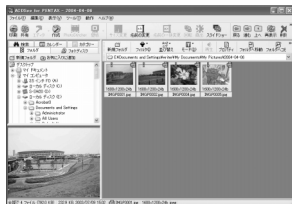
USB接続時、パソコンと通信中およびカードアクセス中は、セルフタイマーランプが点滅してお知らせします。

カメラのUSB接続モードを「PictBridge」に設定した状態でパソコンとUSB接続した場合は、画像を転送できません。いったんカメラをパソコンから取り外し、「カメラ側の準備」(☞p.16)に従ってカメラのUSB接続モードを「PC」あるいは「PC-F」に設定したのち、接続し直してください。

画像を転送する

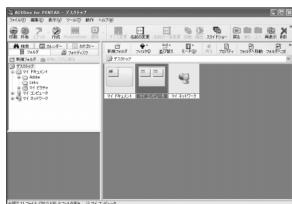
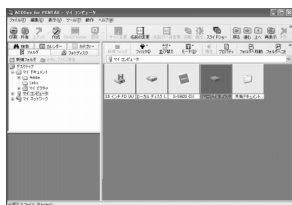
4 「画像をハードドライブにコピー」「ACDSeeを起動」がチェックされていることを確認して、「次へ」をクリックする

5 「参照」をクリックする

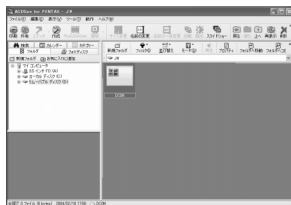
「フォルダの参照」の画面が表示されます。

6 コピー先のフォルダを選んで「OK」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

画像がパソコンにコピーされ、ACDSee for PENTAXのブラウザ（☞p.26）が起動します。

ACDSee for PENTAXを最初に起動する際、「コンポーネントが見つかりません（中略）ACDSee for PENTAX日本語版は、Ghostscript 7.0をサポートしていません。」というメッセージが表示されることがあります。カメラ内の画像を表示、編集するだけの場合はACDSee for PENTAXにGhostscript 7.0をサポートさせる必要はありませんので、「閉じる」ボタンをクリックして、メッセージウィンドウを閉じてください。

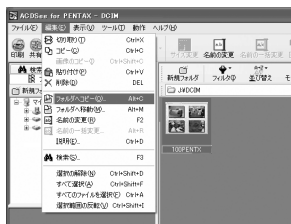
「デバイス検出」が表示されない場合

4　デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」アイコンをダブルクリックする

5　「マイ コンピュータ」をダブルクリックする

6　「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

7 「DCIM」フォルダをダブルクリックする

8 「XXXPENTX」（XXXは3桁の数字）フォルダをクリックする

9 「編集」メニューから「フォルダへコピー」を選ぶ

「ファイルをコピー」の画面が表示されます。

10 「詳細」をクリックしてコピー先のフォルダを選ぶ

11 「OK」をクリックする

画像がパソコンにコピーされます。

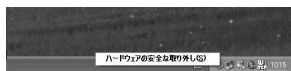
パソコンからカメラを取り外す

Windows XPの場合

1　タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックする

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2　「PENTAX USB DISK Device」を選択して「停止」をクリックする

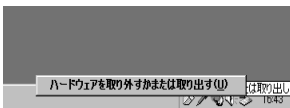
「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3　「PENTAX USB DISK Device」を選択して「OK」をクリックする

取り外し許可のメッセージが表示されます。

4　カメラをパソコンから取り外す

Windows 2000/Meの場合

1　タスクバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。

2　「PENTAX USB DISK Device」を選択して「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3　「PENTAX USB DISK Device」を選択して「OK」をクリックする

取り外し許可のメッセージが表示されます。

4　「OK」をクリックする

5　USBケーブルを取り外す

USBケーブルをカメラとパソコンから取り外します。

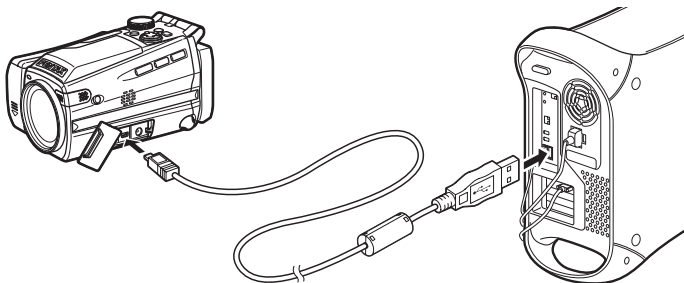
- ACDSee for PENTAXなどのアプリケーションで、カメラ（リムーバブルディスク）を使用中の場合は、アプリケーションを終了しないと、カメラを取り外すことはできません。
- USBケーブルを取り外すと、カメラの電源は自動的にオフになります。

Macintoshへの転送

カメラとMacintoshを接続する

1 Macintoshの電源を入れる

2 カメラの電源をオフにして、USB ケーブルでMacintoshとカメラを接続する

カメラにSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

3 カメラの電源をオンにする

カメラはデスクトップ上の「名称未設定」（Mac OS Xの場合は「NO_NAME」）として認識されます。ドライブ名は変更できます。

- SD メモリーカードにボリュームラベルがついていると、「名称未設定」と表示されずにボリュームラベル名が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。
- USB接続時、パソコンと通信中およびカードアクセス中は、セルフタイマーランプが点滅してお知らせします。

画像を転送する

画像をコピーする方法については、Macintoshの使用説明書をご覧ください。

- カメラ内の画像の表示は、画像を転送しなくても、Macintoshに接続したカメラから直接行うことができます。カメラ内の画像を直接表示する方法については、p.32を参照してください。
- 画像を編集するときは、画像をMacintoshに転送してから行ってください。

Macintoshからカメラを取り外す

1 デスクトップ上の「名称未設定」をゴミ箱にドラッグする

SDメモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合は、その名称のアイコンをゴミ箱にドラッグします。

2 USBケーブルを取り外す

USBケーブルをカメラとMacintoshから取り外します。

- ACDSee for PENTAXなどのアプリケーションで、カメラ（リムーバブルディスク）を使用中の場合は、アプリケーションを終了しないとカメラを取り外すことはできません。
- USBケーブルを取り外すと、カメラの電源は自動的にオフになります。

見て楽しむ

一度デジタルカメラからパソコンに転送した画像や動画は、先にインストールした付属ソフト「ACDSee for PENTAX」を使って、いろいろな方法で表示したり、再生することができます。ここでは、ACDSee for PENTAXを使って画像や動画を閲覧する、ごく基本的な機能について説明します。より詳しい各機能の説明は、オンラインヘルプ（☞p.63）をご覧ください。

ACDSee for PENTAXを起動する

ACDSee for PENTAXを最初に起動する際、「コンポーネントが見つかりません（中略）ACDSee for PENTAX日本語版は、Ghostscript 7.0をサポートしていません。」というメッセージが表示されることがあります。カメラ内の画像を表示、編集するだけの場合はACDSee for PENTAXにGhostscript 7.0をサポートさせる必要はありませんので、「閉じる」ボタンをクリックして、メッセージウィンドウを閉じてください。

Windowsの場合

1　デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」アイコンをダブルクリックする

ACDSee for PENTAXが起動し、画像一覧（ブラウザ）が表示されます。

Macintoshの場合

1　デスクトップ画面の「ACDSee for PENTAX」フォルダをダブルクリックする

2　「ACDSee for PENTAX」のプログラムアイコンをダブルクリックする

ACDSee for PENTAXが起動し、画像一覧（ブラウザ）が表示されます。

ACDSee for PENTAXを終了するには

ブラウザまたはビューアの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

画像や動画を一覧表示する

ACDSee for PENTAXを起動すると、「ブラウザ」と呼ばれる画面が表示されます。ブラウザでは、パソコン内に保存した画像やパソコンに接続したカメラ内の画像をサムネイル形式（小さい画像による一覧形式）で閲覧できるほか、動画の再生も行えます。また画像一覧の表示方法をお好みの方法に変更し、多数の画像を探しやすいように整理することもできます。
ここでは、ブラウザの構成、各部の名称、機能について、簡単に説明します。

Windowsの場合

① メニューバー

ACDSee for PENTAXの多様な機能の実行や各種設定を行います。

② ブラウザツールバー

よく使う機能やツールのショートカットボタンを表示します。これらのボタンをクリックすると、ダイアログボックスやコマンド拡張ボタンが表示されます。
また、ボタンのサイズやラベルの表示位置を変えたり、ツールバーに表示するボタンを、ご自分の使いやすいようにカスタマイズすることができます。

③ **ナビゲーションペイン**
パソコンや外部ドライブなどのフォルダツリーを表示します。
ナビゲーションペインには、検索／カレンダー／カテゴリー／フォルダ／フォトディスクタブがあります。各タブを選ぶと、それぞれのタブ内の画像がファイルペインに表示されます。またフォルダタブでは、Windowsのエクスプローラと同様に、フォルダの名称変更、削除、移動なども行うことができます。

④ **プレビューペイン**
ファイルペインで選択されている画像が表示されます。ファイルペインで動画やサウンドファイルを選択した場合は、プレビューペインで再生することができます。

⑤ **ファイルリストツールバー**
ショートカットボタンを使い、ファイルペインに表示するファイルやフォルダの選択、画像の移動や削除、並べ替えが行えます。
また、ボタンのサイズやラベルの表示位置を変えたり、ツールバーに表示するボタンを選ぶことで、ご自分の使いやすいようにカスタマイズすることができます。

⑥ **パスボックス**
ファイルペインに表示中の画像が格納されているフォルダの場所が表示されます。

⑦ **ファイルペイン**
ナビゲーションペインで選択されたフォルダ内の画像を、リスト形式やサムネイル形式で表示します。
ファイルは名前順、拡張子名順、サイズ順、日付順などに並べ替えることができます。（☞p.30）

⑧ **ステータスバー**
選択されているファイルやフォルダのプロパティが表示されます。

これらの項目が表示されない場合は、「表示」メニューで表示させたい項目を選択し、✓（チェックマーク）を付けてください。

Macintoshの場合

① メニューバー

ACDSee for PENTAXの多様な機能の実行や各種設定を行います。

② ブラウザツールバー

よく使う機能やツールのショートカットボタンを表示します。これらのボタンをクリックすると、ダイアログボックスやコマンド拡張ボタンが表示されます。

③ ナビゲーションペイン

コンピュータや外部ドライブなどのフォルダツリーを表示します。

④ プレビューペイン

ファイルペインで選択されている画像が表示されます。

⑤ ファイルペイン

ナビゲーションペインで選択されているフォルダ内の画像を、リスト形式やサムネイル形式で表示します。

ファイルは名前順、サイズ順、日付順などに並べ替えることができます。（☞p.30）

ブラウザの表示方法を変更する

ブラウザのファイルペインに表示される画像一覧の表示方法を7通りの中から選ぶことができます。
「表示」メニューの「モード」を選択し、サブメニューから表示方法を選択します。選択できる表示方法には、以下のようなものがあります。

サムネイル＋詳細
画像ファイルのサムネイルとファイル情報を、リスト形式で表示します。表示するファイル情報は変更することができます。（☞p.31）

サムネイル
画像ファイルのサムネイルを表示します。

大きいアイコン
大きいアイコンとファイル名を表示します。

小さいアイコン
小さいアイコンとファイル名を表示します。

一覧
小さいアイコンとファイル名を、リスト形式で表示します。

詳細
小さいアイコンとファイル情報を、リスト形式で表示します。表示するファイル情報は変更することができます。（☞p.31）

タイル
大きいアイコンとファイル情報を、タイル形式で表示します。

画像一覧の並び順を変更する

ファイルペインに表示される画像ファイルの順番を並べ替えることができます。

並べ替える項目を選ぶ

「表示」メニューの「並び替え」のサブメニューから、並べ替えの基準となる項目を選択します。

並べ替えの基準となる項目：拡張子順、名前順、サイズ順、タイプ順、日付順、画像プロパティ順、詳細順

昇順／降順を指定する

「表示」メニューの「並び替え」のサブメニューから「昇順」または「降順」を選択します。

- ファイルペインの背景部分（画像がサムネイルやアイコンで表示されていない空白部分）をマウスの右ボタンでクリックすると、カーソルの位置にメニューが表示されます。ここからも同じ手順で並べ替えることができます。
- Macintoshの場合は、ファイル名順、ファイルサイズ順、イメージタイプ順、日付順、逆順に整列の中から選択できます。

キーボードから並べ替える

キーボードのテンキーを使い、画像ファイルの並べ替え、昇順／降順を指定することもできます。

テンキーへの割り当て：0（拡張子順）、1（名前順）、2（サイズ順）、3（タイプ順）、4（日付順）、5（画像プロパティ順）、6（詳細順）、+（昇順）、-（降順）

テンキーを使って並べ替える場合は、キーボードの「NumLock」キーを押して、NumLockをオンにしてください。

詳細表示項目を設定する

ファイルペインが詳細表示の場合、リストに表示する項目を指定したり、項目列の順番を並べ替えることができます。

表示する項目を選ぶ

「表示」メニューの「列」のサブメニューから、リストに表示する項目を選択します。
リストに表示する項目：サイズ、種類、日付、画像プロパティ、説明

なお、非表示にする場合は、項目を再選択しチェックをはずします。

ファイルリストの列ヘッダー部分（名前、サイズなどの項目が書かれた部分）をマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されます。ここからも同じ手順で表示項目を設定することができます。

表示項目列の幅を調整する

リストに表示される各項目の文字数に合わせ、列の幅を調整することができます。列ヘッダーの区切り部分にカーソルを合わせ、カーソルが左右矢印の形に変わったらドラッグし、列の幅を調整します。

列ヘッダーの区切り部分をマウスの左ボタンでダブルクリックすると、リストの文字数に合わせて、列の幅が自動調整されます。

見たい画像が入っているフォルダを選ぶ

他のフォルダにある画像を見る場合は、ブラウザのナビゲーションペインのフォルダツリーで見たいフォルダを選択するか、パスボックスで直接指定します。

フォルダツリーで他のフォルダを選択する

フォルダツリーにあるフォルダを選択すると、それが現在のフォルダとして指定され、そのフォルダにある画像がファイルペインに表示されます。

サブフォルダを表示するには

フォルダにサブフォルダがある場合、フォルダアイコンの隣に、⊞が表示されます。⊞をクリックすると、サブフォルダが表示されます。サブフォルダが表示されているフォルダには⊟が表示されます。⊟をクリックすると、サブフォルダを隠すことができます。

- デジタルカメラがUSB接続されている場合には、外部ドライブのひとつとして、デジタルカメラがナビゲーションペインに表示されます。デジタルカメラが表示される名称は、Windowsでは「リムーバブルディスク」、Macintoshでは「名称未設定」（Mac OS Xの場合は「NO_NAME」）となります。もしくは、SDメモリーカードにボリュームラベル名が記載されている場合はその名称が表示されます。デジタルカメラのアイコンをダブルクリックして開き、「DCIM」内のフォルダ（XXXPENTX）を開くと、カメラ内にある画像を直接ブラウザから閲覧することができます。
- 画像を編集するときは、画像をパソコンに転送してから行ってください。

ブラウザツールバーのボタンで他のフォルダを選択する

ブラウザツールバーの をクリックすると、現在表示されているフォルダの一階層上のフォルダ内容を閲覧できます。
 をクリックすると、現在表示されているフォルダの前に表示していたフォルダ内容を閲覧できます。
 をクリックすると、 で表示フォルダを変更する前に表示されていたフォルダに戻ることができます。

パスボックスで他のフォルダを指定する

「表示」メニューの「パスボックス」を選択すると、ファイルペインにパスボックスが表示されます。閲覧したい画像のあるフォルダの名称（パス）をパスボックスに直接入力すると、ファイルペインにそのフォルダにある画像が表示されます。
また、パスボックス右の をクリックすると、最近使用したフォルダの履歴がドロップダウンリストとして表示されます。リストから閲覧したい画像のあるフォルダを選ぶと、ファイルペインにそのフォルダにある画像が表示されます。

ひとつの画像、映像をじっくり楽しむ

ブラウザのファイルペインに一覧表示された画像ファイルをダブルクリックすると、「ビューア」と呼ばれるウィンドウが開き、その画像が画像サイズに応じた大きさで表示されます。また動画ファイルやサウンドファイルをダブルクリックすると、その動画や音声を再生するための「ACDSee メディアウィンドウ」というウィンドウが開きます。「ACDSee メディアウィンドウ」では、動画をそのオリジナルサイズ（本来設定されている画面サイズ）やフルスクリーンで再生することができます。

画像を大きく表示する（ビューア）

ビューアの構成、各部の名称、機能について説明します。

① メニューバー

ACDSee for PENTAXの多様な機能の実行や各種設定を行います。

② ビューアツールバー

ズームなどよく使うツールのショートカットボタンを表示します。
また、ボタンのサイズやラベルの表示位置を変えたり、ツールバーに表示するボタンを追加／削除するなど、ご自分の使いやすいようにカスタマイズすることができます。

③ ビューアペイン
画像がフルサイズで一枚ずつ表示されます。

④ ステータスバー
表示されている画像ファイルのプロパティが表示されます。

ビューアが表示されているときに以下のような操作をすると、ビューアを閉じてブラウザに切り替わります。
- ☒（閉じる）ボタンをクリックする。
- ビューアペインの範囲をダブルクリックする。
- キーボードの「Esc」キーを押す。

動画を大きく再生する（ACDSeeメディアウィンドウ）

ACDSee メディアウィンドウの構成、各部の名称、機能について説明します。

① メニューバー
ACDSee メディアウィンドウの多様な機能の実行や各種設定を行います。表示メニューでは、動画再生時の画面サイズを設定することができます。

② メディアウィンドウツールバー
動画ファイルを開くなど、よく使うツールのショートカットボタンを表示します。「クリップボード」をクリックすると、動画の中の表示中のフレームをクリップボードにコピーすることができます。また「プロパティ」をクリックすると、表示中の動画／サウンドファイルに関する情報が表示されます。

③ プレビューペイン
動画が表示／再生されます。

④ 操作ボタン
動画／サウンドの再生、一時停止、早送り、巻戻し、音量などをコントロールします。

創って楽しむ

ACDSee for PENTAXでは、画像や動画を表示、再生して楽しむだけでなく、画像にさまざまな加工を施したり、動画や静止画を使ってストーリーのある作品を仕上げたりなど、「創る」楽しさも味わうことができます。ここでは、ACDSee for PENTAXの多彩な画像／動画編集機能について、説明します。

画像を編集する

ACDSee for PENTAXから画像編集ソフト「ACD FotoCanvas」を呼び出すと、画像の修正や編集加工、合成などを行うことができます。

ACD FotoCanvasを呼び出す

ACD FotoCanvasを呼び出すには、ブラウザのファイルペインで編集したい画像を選択したのち、「動作」メニュー →「編集」→「エディタ」→「FotoCanvas」を選択します。
もしくは、ブラウザのファイルペインで編集したい画像の上で右クリックし、メニューから「編集」を選択します。

画像の明るさを調整する

画像の明るさやコントラスト、諧調をお好みに応じて調整することができます。

1　編集したい画像をACD FotoCanvasで開いたのち、「レベル調整」ボタンをクリックする

「輝度/コントラスト/ガンマ」ウィンドウが表示されます。

2　各スライダを調整し、画像を好みの明るさにする

「輝度」は画像全体の明るさを、「コントラスト」は画像内の明度差（暗い部分と明るい部分の差）を、「ガンマ」は明るい部分から暗い部分への滑らかさ（画像の諧調）を調整します。

画像に字や色を描き足す

写真の上に文字のメッセージを追加したり、色を塗り足したりして、オリジナルのビジュアル作品を創ることができます。

1　編集したい画像をACD FotoCanvasで開いたのち、ドローイングツールバーから「エアブラシ」「四角形」「テキスト」などのツールを選択する

「表示」メニューから「ツールオプション」を選択しておくと、各ツールの詳細設定を行うことができます。

2　画像内でマウスをクリックもしくはドラッグし、塗りや線、字を描き足す

塗りや線、字の色は、ウィンドウ右上のカラーオプションで選ぶことができます。また画像への色の乗せ方（合成の仕方）と不透明度（画像の上に乗せた色の透け具合）を設定することができます。

画像を合成する

写真の上に別の写真やイラストを重ね合わせ、合成することができます。

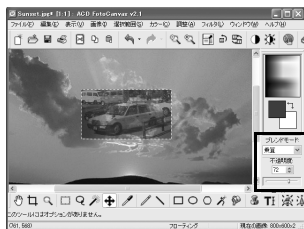
1　別の写真やイラストをコピーする

写真やイラストをコピーする方法は、その際にお使いのソフトウェアのマニュアルもしくはオンラインヘルプをご覧ください。

2　ACD FotoCanvasで別の画像を重ねたい写真を開き、「編集」メニュー➔「貼り付け」➔「新しい選択範囲」を選択する

貼り付けた画像は点線で囲まれて表示されます。この点線が表示されている間は、マウスでドラッグして好きな位置に動かすことができます。

3　貼り付けた画像の位置を決めたら、「ブレンドモード」と「不透明度」を設定する

ブレンドモード（背景になる画像との合成方法）と不透明度（透け具合）を設定します。

4　貼り付けた画像を囲む点線の外側をクリックする

貼り付けた画像が、元の画像に定着されます。

その他の便利な機能

ACD FotoCanvasのその他の機能で、覚えておくと便利で楽しいものを、いくつかご紹介しておきます。詳しい使い方は、ACD FotoCanvasのオンラインヘルプをご覧ください。

赤目修整

「赤目修整」ツールを使うと、フラッシュの光で目の色が赤くなった画像を、自然な目の色に修整することができます。

クローン

「クローン」ツールを使うと、画像の中の一部分を自然な形で複写することができます。「空などの背景をクローンツールで複写して、画像の中の不要な部分を消す」といった使い方もできます。

フィルタ

「フィルタ」メニューに用意されたさまざまなフィルタを用いると、画像をぼかす、変形する、写真を絵のように加工するなど、いろいろな画像編集を簡単に楽しんでいただくことができます。

編集した画像を保存する

ACD FotoCanvasで編集加工した画像は、さまざまな画像ファイル形式で保存することができます。

1　「ファイル」メニュー ➔「名前を付けて保存」を選択する

2　「画像に名前をつけて保存」ダイアログボックスで「ファイル名」を入力し、「ファイルの種類」を選択する

「ファイルの種類」は、画像の使用目的に応じて選択します。

3　「保存する場所」で画像を保存するフォルダを選択したのち、「保存」ボタンをクリックする

パノラマ合成する

「ACD photostitcher」を使うと、パノラマアシストモードで撮影した画像をパノラマ合成することができます。
なお、以下の説明用の画面に表示されるフォルダや画像の名前はお使いになっているパソコンの環境によって異なります。

- Windows 2000およびWindows XPで複数のアカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてから使用してください。
- Macintoshでは、ACD photostitcherはACDSee for PENTAXと別にインストールする必要があります。（☞p.14）
- 記録サイズの異なる画像はパノラマ合成ができません。

Windowsパソコンでパノラマ合成をする

1 ACDSee for PENTAXを起動する

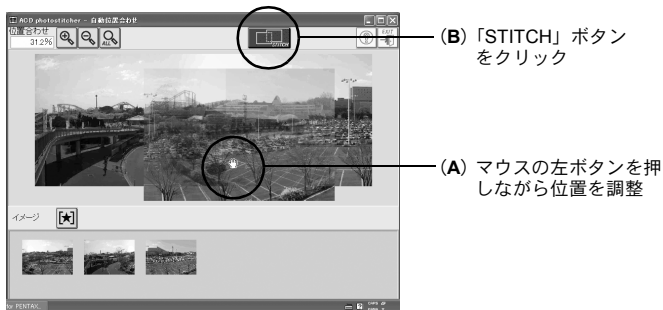
画像一覧が表示されます。

2 画像一覧で、パノラマ合成したい写真を選択する

キーボードの「Ctrl」キーを押して、写真をクリックしながら複数の画像を一度に選択します。
画像を選択後、メニューバーから「動作」の「その他」を選択し、サブメニューから「PhotoStitcher」を選択します。
画像を2枚以上選択していない場合「PhotoStitcher」は有効になりません。

画像を選択

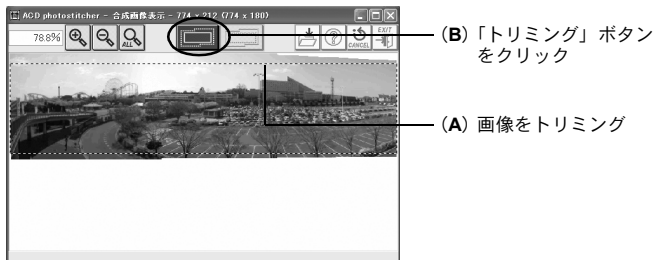
3 写真の位置を修正する

ACD photostitcherが起動し、選択した画像がパノラマの状態で表示されます。
写真の上にマウスポインタを置くと、✋マークに変わります。
マウスの左ボタンを押しながら、それぞれの画像を移動させて合成位置を調整します（**A**）。
位置を調整後、「STITCH」ボタンをクリックします（**B**）。

4 合成方法を選ぶ

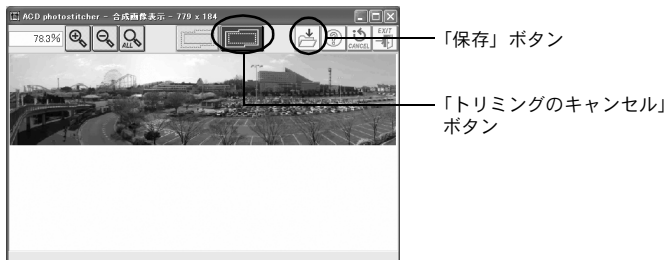
合成方法には「大平面」と「円筒面」があります。ここでは、平面のパノラマを作成するので、「大平面」ボタンをクリックします。
確認のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

左のような表示がされた場合は、「OK」をクリックして作業を続けます。

5 画像をトリミングする

画像を囲んでいる点線にマウスポインタを置くと、↕マークに変わります。マウスの左ボタンを押しながら点線を移動させて画像のトリミング範囲を設定します（**A**）。
範囲を設定後「トリミング」ボタンをクリックします（**B**）。

6 画像を保存する

トリミングを確認後、「保存」ボタンをクリックし、画像を保存します。トリミングを取り消す場合は「トリミングのキャンセル」ボタンをクリックしてください。

Macintoshでパノラマ合成をする

1　ACD photostitcherを起動する

2　ウィンドウ1で「読み込み」ボタンをクリックする

フォルダの選択画面が表示されます。

3　合成したい画像のあるフォルダを選び、「選択」ボタンをクリックする

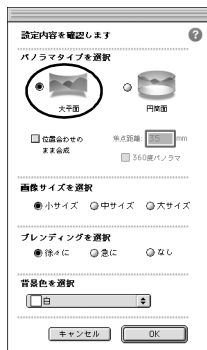
画像一覧にフォルダ内のファイルが表示されます（**A**）。

4　ウィンドウ 1 でパノラマ合成に使用する写真をすべて選択し、「配置画像を選択」ボタンをクリックする

選択した画像が、「位置合わせ」ウィンドウ（ウィンドウ2）の画像配置パレットに表示されます（**B**）。

5　合成方法を選ぶ

ウィンドウ2で「合成方法」ボタン（**C**）をクリックすると、合成方法の設定画面が表示されます。

合成方法には、「大平面」と「円筒面」があります。ここでは平面のパノラマを作成するので、「大平面」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

6　「自動配置」ボタンをクリックする

選択した画像がパノラマ状態に整列します。

7 写真の位置を修正する

ウィンドウ2で画像をクリックすると、赤枠で囲まれ移動できるようになります。マウスのボタンを押しながら、それぞれの画像を移動させて合成位置を調整します。
「2枚配置」タブをクリックすると、隣り合う2枚の合わせ目を拡大表示して調整できます。

マウスボタンを押しながら位置を調整

8 「合成実行」ボタンをクリックする

合成が始まります。しばらくすると合成結果が表示されます。

9 画像をトリミングする

「合成結果」ウィンドウで「切り抜き」ボタンをクリックすると、画像が点線で囲まれます（**A**）。
画像を囲んでいる点線にマウスポインタを置くと、↕マークに変わります。マウスのボタンを押しながら点線を移動させて画像のトリミング範囲を設定します（**B**）。
範囲を設定後もう一度「切り抜き」ボタンをクリックします（**C**）。
トリミングを取り消す場合は「元にもどす」ボタンをクリックしてください。
トリミングを確認後、「OK」ボタンをクリックします（**D**）。

10 画像を保存する

「合成結果表示」ウィンドウ（ウィンドウ3）で「保存」ボタンをクリックし、画像を保存します。

動画を編集する

「ACD Showtime! for PENTAX」を使うと、デジタルカメラで撮影した複数の動画を一本につなぎ合わせることができます。また、動画と静止画、静止画どうしを組み合わせて、時間軸に沿ったストーリー展開なども表現できる「ショー」創りを楽しむことができます。

ACD Showtime! for PENTAXを呼び出す

ACD Showtime! for PENTAXは、スタートメニューやデスクトップのアイコンから起動できるほか、ACDSee for PENTAXの中から呼び出すことができます。

1　ACDSeeの「動作」メニュー→「作成」→「ACD Showtime!」を選択する

ACD Showtime! for PENTAXの初期画面が表示されます。

ACDSee for PENTAXのファイルペインで画像や動画ファイルを選択した状態で、「動作」メニュー→「作成」→「ACD Showtime!」を選択すると、ファイルペインで選択されている画像や動画ファイルが読み込まれた状態で ACD Showtime! for PENTAXが起動します。

「プロジェクト」をつくる

ACD Showtime! for PENTAXでは、動画や静止画の組み合わせ方や、表示／再生時間などの設定を、「プロジェクト」と呼びます。ACD Showtime! for PENTAXでの作業は、まずこの「プロジェクト」を新規作成するところから始まります。

1　ACD Showtime! for PENTAXの初期画面で、「ビデオファイルの作成」をクリックする

新規プロジェクトが作成され、「ショーの編集」画面が表示されます。

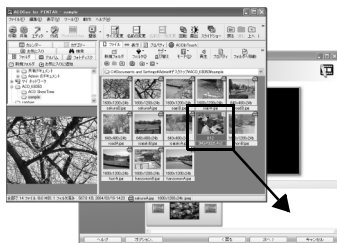
この「ショーの編集」画面で、左上の「プロジェクト」メニューの中にある「新規」をクリックしても、新しいプロジェクトを作成することができます。その際、現在「ショーの編集」画面で開かれているプロジェクトは閉じられ、保存していない場合は保存を促されます。

ビデオ、画像、音楽／オーディオを追加して並べ替える

ACD Showtime! for PENTAXでは、新規プロジェクトにビデオ、画像、音楽／オーディオを追加し、表示／再生される順番を並べ替えていくことで、ショーをつくっていきます。

1　画面左側の「ショー」メニューから、「ビデオの追加」「画像の追加」「音楽/オーディオの追加」のいずれかをクリックする

「ビデオ（画像、音楽/オーディオ）の追加」ダイアログボックスが表示されます。
プロジェクトに追加したいビデオ、画像、音楽／オーディオファイルを選択し、「開く」をクリックします。

もしくは、ACDSee for PENTAX やデスクトップからファイルをドラッグ＆ドロップして追加することもできます。

なお、「ショーの編集」画面で、ビデオ、画像、音楽／オーディオが並べられるエリアを、「タイムライン」と呼びます。

2　動画や画像をドラッグ＆ドロップして並べ替える

オーディオを読み込んでいる場合は、そのオーディオの再生開始位置を、オーディオトラックをドラッグすることで変更することができます。

オーディオトラックを表示したい場合は、「表示モードの切り替え」ボタンをクリックしてください。

3　「プレビュー」ボタンをクリックする

現在編集中のショーが、プレビューエリアで再生されます。

ビデオの編集

「ショーの編集」画面に読み込んだ動画ファイルを選択すると、特殊効果の適用や動画の長さの変更などの編集が行えます。

1　編集したいビデオを選択する

画面左側に、「ビデオ」メニューが表示されます。

2　「ビデオ」メニューから「効果」もしくは「トリム」を選択する

「効果」を選ぶと、画面をぼかしたり、エンボス化したりなど、いろいろな特殊効果や画質補正を行うことができます。

「トリム」を選択すると、ショーの中でその動画が再生される範囲を指定することができます。

画像の編集

プロジェクトに読み込んだ静止画は、表示される時間の長さを変えることができます。また一部分だけを拡大したり、特殊効果を適用したりなどの編集を加えることもできます。

1 編集したい画像を選択する

「ショーの編集」画面左側に、「画像」メニューが表示されます。

2 編集したい項目を選択し、設定する

「画像」メニューでは、以下の画像編集が行えます。

回転/反転 画像を左右 90 度に回転、もしくは左右／上下に反転します。

トリミング 画像の一部を切り取り、拡大します。

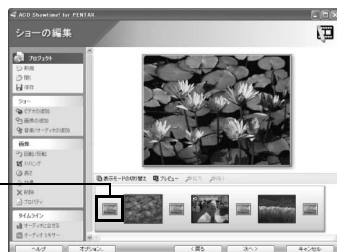
長さ 画像を表示する時間の長さを、ミリセカンド単位で設定します。

効果 エンボスなどの特殊効果、ガンマ補正などの画像補正を適用します。

シーンの切り替わりの演出

タイムラインに読み込んだ動画や画像が切り替わる際、前後の映像が重なり合ったり、いったん暗くなったのち次の画像が表示されたりなど、さまざまな効果を適用することができます。この動画／画像切り替え時の効果のことを、「トランジション」と呼びます。

1 「表示モードの切り替え」ボタンをクリックする

タイムラインを図の表示に切り替えます。

2 トランジションを選択する

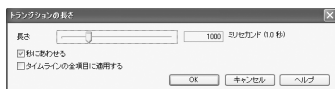
トランジションをクリックして選択します。
「ショーの編集」画面の左側に、「トランジション」メニューが表示されます。

3　「トランジション」メニューから「トランジション」をクリックする

トランジションを選択するダイアログボックスが表示されます。
お好みのトランジションを選択し、OKをクリックします。

4　「トランジション」メニューから「長さ」をクリックする

「トランジションの長さ」ダイアログボックスが表示されますので、スライダを操作し、ミリセカンド単位でトランジションの長さを設定します。

実際のトランジションの効果、長さについては、「プレビュー」ボタンをクリックしてショーを再生し、確認してください。

オーディオの編集

「ショーの編集」画面のタイムラインに追加した音楽／オーディオは、長さを変えたり、他の音楽／オーディオとの音量バランスを調整するなどの編集が行えます。

音楽／オーディオの長さを変える

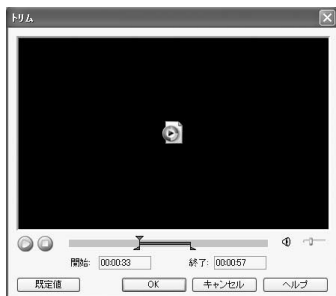
1　「表示モードの切り替え」をクリックし、タイムラインにオーディオトラックを表示する

2 長さを変えたいオーディオトラックを選択する

「ショーの編集」画面左側に、「オーディオ」メニューが表示されます。

3 「オーディオ」メニューの「トリム」をクリックする

4 「トリム」ウィンドウで、開始点と終了点を指定し、音楽／オーディオの長さを指定する

再生ボタンをクリックすると、変更後の開始点と長さを確認できます。

音楽／オーディオの開始点を動画や画像の開始点に合わせる

タイムライン上に複数の動画や画像を並べている場合、どの動画や画像の始まりから音楽／オーディオの再生を開始するのかを選択できます。

1 タイムライン上のオーディオトラックの上で右クリックする

2　メニューの「次に合わせる」から、「開始」「前」「次」「終了」のいずれかを選択する

開始　タイムラインの先頭から再生が開始

前　ひとつ前の動画／画像の先頭から再生が開始

次　ひとつ後の動画／画像の先頭から再生が開始

終了　一番最後の動画／画像の先頭から再生が開始

オーディオトラック上の音楽／オーディオは、ドラッグして好きな開始位置に移動することができます。

動画／画像の長さに合わせる

開始点が同じ動画や画像の長さに合わせて、音楽／オーディオの長さを短くすることができます。

1　タイムライン上のオーディオトラックの上で右クリックする

2　メニューから「スライドにトリム」を選択する

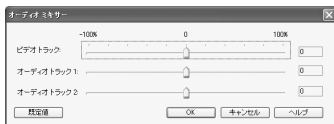
開始位置が同じ動画や画像の長さに合わせて、音楽／オーディオの長さが短くなります。

「タイムライン」メニューから「オーディオに合わせる」を選ぶと、「スライドにトリム」とは反対に、ショー全体がオーディオトラックに追加されている音楽／オーディオの長さに合わせられます。音楽の曲に合わせてスライドショーをつくるといった場合に使用すると、便利でしょう。

音量バランスを調整する

動画に埋め込まれたオーディオと、オーディオトラック1、2の間の音量バランスを調整することができます。

1　「ショーの編集」画面の「タイムライン」メニューから、「オーディオミキサー」をクリックする

2　「オーディオミキサー」ウィンドウで、音量バランスを調整する

動画に埋め込まれたオーディオをミュートしたい場合は、タイムライン上で動画を右クリックし、メニューから「埋め込みオーディオをミュート」を選択します。

プロジェクトの保存／ビデオの保存

「ショーの編集」画面で編集している「プロジェクト」は、動画や画像、音楽／オーディオといった素材がどのように組み合わされ編集されているかが記録されている大事な情報です。こまめに保存するように注意しましょう。また編集結果の「ショー」は、Windows Media VideoやAVI、MPEG-1などの形式を選び、デジタルビデオファイルとして書き出すことができます。

プロジェクトの保存

1　「ショーの編集」画面の「プロジェクト」メニューから、「保存」をクリックする

「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名と保存場所を設定し、「保存」ボタンをクリックして保存します。

一度「名前を付けて保存」すると、それ以降は「プロジェクト」メニューの「保存」をクリックするたびに、上書き保存されます。

次に説明する「ビデオ／プロジェクトの保存」画面でも、プロジェクトを保存することができます。

ビデオの保存

1 「ショーの編集」画面で、画面右下にある「次へ」をクリックする

2 「ビデオ／プロジェクトの保存」画面が表示されるので、「ビデオの保存」から「フォーマット」と「出力ファイル名」を設定する

出力ファイルは、初期状態では「マイ ドキュメント」フォルダに保存されるように設定されています。「出力ファイル名」を設定する際は、あとで保存先がわからなくならないよう、「無題.wmv」の部分のみ変更するように注意してください。
また拡張子（ファイル名末尾の「.」以下のアルファベット。初期状態では「.wmv」）を削除したり変えたりすると、パソコン上でビデオファイルとして認識されなくなる場合がありますので、注意しましょう。もし誤って削除したり変えてしまった場合は、「フォーマット」からビデオファイル形式を選び直すと、自動的に適切な拡張子が付けられます。

3 「次へ」をクリックする

ビデオの保存が開始されます。
また同時に、手順2の「ビデオ／プロジェクトの保存」画面の「プロジェクトの保存」で設定されているとおりに、プロジェクトも保存されます。

発表して楽しむ

ASDSee for PENTAXのブラウザやビューアから、画像ファイルを印刷することができます。また、画像をメールで送ったり、ACD Showtime! for PENTAXで編集した「ショー」をパソコンで再生したりなど、ご自分の作品をいろいろな形で「発表」することができます。

画像を印刷する

ブラウザから印刷する

ブラウザから画像を印刷できます。

1 印刷する画像を選ぶ

複数の画像を印刷するときは、キーボードの「Ctrl」キーを押したまま、印刷したい画像をすべてクリックします。

2 「ファイル」メニューから「画像の印刷」を選ぶ

「印刷」画面が表示されます。

3 必要に応じて各種設定を行う

4 「印刷」をクリックする

コンタクトシートを作成し、印刷する

コンタクトシート（画像のサムネイル一覧）を作成し、印刷することができます。それぞれの画像にラベルを貼ったり、タイトルをつけたり、画像のサイズを変えたりすることができます。

1 ブラウザでコンタクトシートにする画像を選ぶ

キーボードの「Ctrl」キーを押したまま、印刷したい画像をすべてクリックします。

2 「ファイル」メニューから「コンタクトシートの印刷」を選ぶ

「コンタクトシート印刷」画面が表示されます。

3 必要に応じて各種設定を行う

4 「OK」をクリックする

メモ

「コンタクトシート印刷」画面の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、コンタクトシートの作成、印刷についてより詳しく知ることができます。

ビューアから印刷する

ビューアからは現在表示されている画像や、その画像を含むフォルダ内の全画像を印刷できます。

1　ファイルメニューから「画像の印刷」または「すべての画像の印刷」を選ぶ

「画像の印刷」は、現在表示されている画像を印刷するときに選びます。
「すべての画像の印刷」は、現在表示されている画像を含むフォルダ内の全画像を印刷するときに選びます。
いずれかを選ぶと、「印刷」画面が表示されます。

2　必要に応じて各種設定を行う

3　「印刷」をクリックする

日付を入れて印刷するには

画像ファイルに日付を入れて印刷することができます。日付を入れる設定は「印刷」画面で行います。

1　「印刷画面」の「キャプション」タブを選ぶ

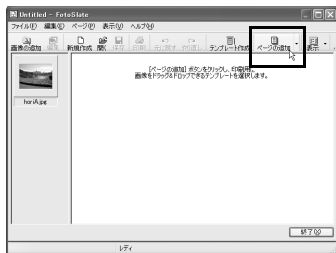
2　「画像の取得日付を画像の隅に印刷する」チェックボックスにチェックを入れる

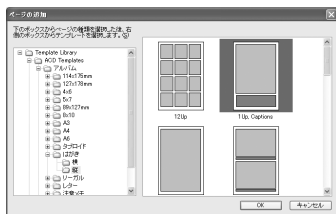
写真をレイアウトして印刷する

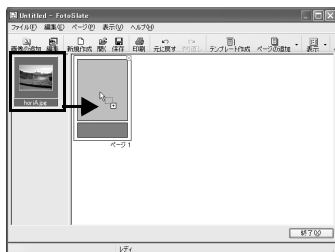
ACDSee for PENTAXに付属する「FotoSlate」を使うと、写真を台紙の上にレイアウトし、テキストのメッセージを添えて印刷することができます。FotoSlateの利用方法を、簡単に説明します。

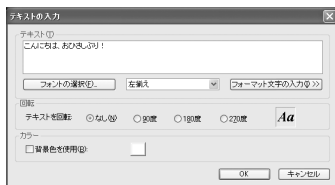
1　ACDSee for PENTAX上でレイアウトに用いたい画像を選択し、「動作」メニュー➔「印刷」➔「FotoSlate」を選択する

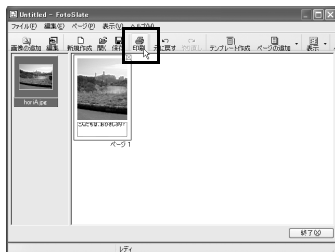
「FotoSlate」ウィンドウが表示されます。

2　「FotoSlate」ウィンドウのツールバーで、「ページの追加」をクリックする

3　「ページの追加」ウィンドウから、レイアウトに使用したいテンプレートを選ぶ

ウィンドウ左側のツリーリストからカテゴリーを選び、右側のボックスに表示されるテンプレートのサムネイルからひとつを選んだのち、「OK」をクリックします。

4 画像をテンプレートにドラッグする

「FotoSlate」ウィンドウの左側のボックスから、右側のボックスに表示されたテンプレートに、画像をドラッグして追加します。

5 テキストを入力する

テンプレート内の濃いグレーの部分は、テキストの入力を行えるスペースです。ここをダブルクリックすると、「テキストの入力」ウィンドウが表示されますので、お好きなメッセージを入力してください。フォントやサイズ、文字の色、テキストの回転なども設定できます。

6 印刷する

ツールバーの「印刷」ボタンをクリックします。
「印刷」ダイアログボックスが表示されますので、印刷範囲（複数のページがある場合の印刷ページ数）や印刷部数などの設定を行ったのち、「OK」ボタンをクリックして印刷します。

画像をメールで送る

ACDSee for PENTAXから直接、画像をメールで送ることができます。画像ファイルはすべてJPEG形式に変換され、メールに添付されて送信されます。画像サイズが大きい場合は縮小して送信されますが、パソコンに保存されている元の画像を変更することはありません。
なお、メールで画像を送るにはあらかじめ「電子メールアカウント」の設定が必要です。

ACDSee for PENTAXのメール機能は、Macintoshには対応していません。

1　ブラウザで、送信したい画像を選ぶ（複数でも可）

複数選ぶ場合は、キーボードの「Ctrl」キーを押しながら、送信したい画像をすべてクリックします。

2　「動作」メニューから「共有」を選び、「電子メール」を選ぶ

メールの送信画面が表示されます。

3　「宛先」など、必要な情報を入力する

4　「送信」をクリックする

- メールの送信画面の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、画像のメール送信についてより詳しく知ることができます。
- ご使用のメールサーバのセキュリティ設定によっては、エラーが表示されて、メールが送信できない場合があります。

ACD Showtime! for PENTAXで創った動画を再生する

ACD Showtime! for PENTAXで創った動画（ビデオファイル）は、パソコン上で再生することができます。その方法について、簡単にご紹介しましょう。

ACDSee for PENTAXで再生する

1　ナビゲーションペインから、再生したい動画を探す

2　ファイルペインに再生したい動画のサムネイルが表示されたら、クリックして選択する

3　プレビューペインで再生ボタンをクリックする

動画の再生が開始されます。

ファイルペインで動画のサムネイルをダブルクリックすると、ACDSeeメディアウィンドウ（☞p.34）が開き、動画をフルサイズやフルスクリーンサイズで再生することができます。

パソコンに付属の動画再生ソフトなどで再生する

ご自分のパソコンで創った動画を友人のパソコンで再生するなど、ACDSee for PENTAXがない環境で動画を再生する場合は、パソコンに付属の動画再生ソフトなどを利用します。
各動画再生ソフトの「ファイル」メニュー →「開く」などから再生したいビデオファイルを選択し、再生を開始してください。

Macintosh環境での再生を前提に動画を創る場合は、QuickTime形式で保存すると安全です。詳しくは、「プロジェクトの保存／ビデオの保存」（☞p.55）をご覧ください。

ACDSee for PENTAXをもっと楽しもう

ACDSee for PENTAXには、ここでご紹介した以上に、画像や動画をパソコン上で楽しむための機能が満載されています。ACDSee for PENTAXをさらに楽しむための機能や操作方法の見つけ方についてご紹介しましょう。

ヘルプの使い方

ACDSee for PENTAXおよび各付属ソフトウェアには、使い方や機能を詳細に説明したヘルプが用意されています。操作に迷ったら、ぜひ利用しましょう。

知りたいことを探す

1　「ヘルプ」メニューから「トピックの検索」を選択する

ヘルプウィンドウが表示されます。

2　「目次」「キーワード」「検索」タブのいずれかを選択し、知りたい項目を探す

「検索」タブでは、知りたい語句を入力し「検索開始」ボタンをクリックすることで、知りたいことをダイレクトに見つけることができます。

ヒントを利用する

1　「ヘルプ」メニューから「ワンポイント…」を選択する

2　「便利な使い方」が表示される

使い方に関するヒントが、ランダムに表示されます。「次を表示」をクリックすると、次々に新しいトピックスが表示されますので、ちょっとしたヒントを探すのに利用ください。

ACDInTouchを利用する

ACDInTouchは、インターネットを使用して、ACDSee™の最新情報を入手できるサービスです。最新ニュースやTIPSの購読が行えるほか、特別オファーや無料のデジタル画像素材の提供なども受けることができます。

ACDInTouchに接続するには

1　「ヘルプ」メニューから「ACDInTouch」を選択する

「ACDInTouchに接続」画面が表示されます。

2　「今すぐ接続」をクリックする

ACDInTouchサービスについて

ACDInTouchはACDSee for PENTAXに直接情報を送信するサービスです。接続時に情報が送信されるので、ACDInTouchペインで直接最新情報を読み取ることができます。この情報は、ACDSYSTEMS™からのアップグレード、アドオン、および関連ソフトウェアなど、使用中の製品に直接関連しています。

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
営業時間午前9：00～午後6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
ナビダイヤル0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）
携帯電話、PHSの方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎**03-3960-3200**（代）　☎**03-3960-0887** デジタルカメラ専用

[ショールーム・写真展・修理受付]

ペンタックスフォーラム ☎**03-3348-2941（代）**
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階（私書箱240号）
営業時間午前10：30～午後6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[修理受付]

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 ☎**011-612-3231（代）**
〒060-0010 札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 ☎**022-371-6663（代）**
〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 ☎**052-962-5331（代）**
〒461-0001 名古屋市東区泉1-19-8 ペンタックスビル3階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 ☎**06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 ☎**082-234-5681（代）**
〒730-0851 広島市中区榎町2-15 榎町ビュロー 1階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 ☎**092-281-6868（代）**
〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター ☎**03-3975-4341（代）**
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター ☎**06-6271-7996（代）**
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57437
01-200408
Printed in Philippines